




unesco World Heritage site Jomon Prehistoric Sites in Northern Japan

# 世界へ発信！

unesco Global Geopark

## 2つのユネスコ遺産

■問合せ 世界ジオパーク・縄文世界遺産推進室 (☎ 82-3663)

## 「世界遺産子どもサミット」 に参加しました！

11月29日、北海道教育委員会が主催する「世界遺産子どもサミット」が、オンラインで開催されました。世界遺産子どもサミットは、「北海道・北東北の縄文遺跡群」の各遺跡がある町の学校をオンラインで中継して、縄文について学んだことや活動したことについて発表するサミットです。北海道からは洞爺湖町や千歳市の小学校や南芽部高校のほか、北東北の小中学校など合わせて7校が参加しました。洞爺湖町からは虻田小学校ととうや小学校の代表者5名が、入江・高砂貝塚館からオンラインで参加しました。

虻田小学校からは、子どものころから慣れ親しんだ入江貝塚のことや、イノシシをはじめとした様々な動物のキバを使ったアクセサリーの面白さ、お母さんと赤ちゃんが一緒に見つかったお墓で仲間を大切に思う気持ちを学んだことを伝えました。また、高砂貝塚の整備活動について、復元貝塚のホタテ貝を割ったことなど、楽しみながら整備活動に参加できたことを発表しました。



とうや小学校からは、いろいろな縄文体験を通して感じた縄文人のイメージの変化について発表しました。縄文土器作り体験から、自分たちが作った土器の何倍もの大きさの縄文土器を作る技術力の高さを知ったこと、黒曜石体験で切れ味の良さに驚いたこと、弓矢で獲物をとる縄文人のすごさに興味津々な様子でした。さらに、入江貝塚で見つかった、長い間介護を受けていた病気の人の人骨から、縄文人が思いやりの心を持っていたことを知ったと伝えました。

今回の「世界遺産子どもサミット」で自分たちの活動をプレゼンするという事は、子どもたちにとって貴重な体験となったのではないのでしょうか。これからも、地域の宝そして世界の宝である世界遺産の面白さを広げていきたいと思ひます。

